

会議の概要

平成 2 8 年 度 第 5 回

おおたま学園コミュニティ・スクール委員会

□日時 平成 2 8 年 1 0 月 1 7 日 (月) 1 8 : 4 5 ~ 2 0 : 4 5

□場所 改善センター 2 階 農事研修室

(進行…事務局)

1 開会の言葉

おおたま学園コミュニティ・スクール委員会副会長

2 教育長あいさつ

大玉村教育委員会教育長 佐藤 吉郎

- ・ 10 月 1 日に実施した「おおたま・オータム・フェスタ」では子どもたちだけで 880 名、総勢で 1200 名を超える人数となった。1 年半にもわたり、この CS 委員会でも協議を重ねてきた結果、大変良い事業となったことに、御礼申し上げる。
- ・ 「大人が変われば、子どもも変わる県民運動」の推進の一環として「大人が変わるためのセミナー」の第 1 回目に、境野先生がコーディネーターを務められ、私もパネリストとして参加した。セミナーの冒頭で境野先生は 3 つの間「空間・仲間・時間」のことについてお話されているのだが、この 3 つの間が今危うい状況になっているという内容のお話をされた。私はこれに一つ加えて 4 つ目の間「手間暇」が必要であると考えている。おおたま・オータム・フェスタはまさに皆様に「手間暇」をかけていただいて、新たな大玉の子ども文化を花咲かせていただいたのかなと思う。心から感謝申し上げます。
- ・ 第 8 回の教育フォーラムについては、限られた時間の中での協議となるため、役員会を開いて事前協議をしていただいた。今日は原案をまとめるところまで進めていくことになるので、皆様からたくさんのご意見をいただきたい。

3 おおたま学園コミュニティ・スクール委員会 会長あいさつ

おおたま学園コミュニティ・スクール委員会 会長 境野 健児

おおたま・オータム・フェスタでは、私もアートフィールドワークに参加させていただいた。学校の垣根を越えて先生方が協力し合って子ども達を一体感をもって育てていく姿があった。

また、地域の方々の手厚い支援という大玉の文化を作りつつあることを感じた。おそらく県内自治体の中でも大玉村のような取り組みは少ないだろうと思う。こういう文化を大玉で積み上げてきているのは、皆様の支えがあつてのことと思うので、今後ともよろしくお願いしたい。

4 諸連絡 本日の日程・内容について

事務局

教育長退室

5 協 議 (座長 藤田 CS 副会長)

- (1) おおたま・オータム・フェスタの反省について

○ 次の視点から、小グループによる熟議を行った。

- ・活動上の成果（ねらいに関わって）
- ・活動上の課題
- ・次年度への引継ぎ、改善事項
- ・その他

以下、各グループで話し合われた概要を掲載する。

〈オリエンテーリング部〉

- ・オリエンテーリングという競技は、みんなで作戦を立てて、みんなで協力してゴールを目指すという性質上、自然と子ども達が協力し合い良い活動になったと思う。
- ・多くの道具を使用する競技のため準備等も大変なのだが、その準備や事前指導等、オリエンテーリング協会の方に大変お世話になった。また、事故なく安全にできたのもボランティアの方々のおかげである。
- ・改善点としては、グループ編成のところで、交流がさらに深まるような工夫を考えていきたい。
- ・今回事故なく実施できたが、連絡体制、安全確保の体制などもよく確認しておく必要がある。

〈大名倉山登山部〉

- ・何よりも天候に恵まれて、良かった。ただ、登山道がぬかるみやすいので、次年度以降も状況が悪い時の対応は必要だろう。
- ・ペース配分が上手くできずに後半バテてしまった子どももいたが、保護者のボランティアもあり安心して活動できた。
- ・玉井小は授業で2回登っているが、この行事で1回登るのであれば授業は1回減らしでも良いのではないか。
- ・山頂で〇×クイズを行ったが、これは、村の産業課の職員の方が担当してくださった。主催者側で準備すべきだったのではないか。

〈昔遊びとグラウンドゴルフ部〉

- ・先生方の段取りが良かったので、大人数にもかかわらずスムーズに移動し、活動できていた。
- ・1, 2年生177名と大勢だったので、一つの遊びが、グラウンドと体育館の移動も含めて、8分程度しか時間が取れず、正味5分程度しか遊びの時間を確保できなかった。
- ・人数が多いため、種目を多くしたが、種目が多すぎたという反省も出ていた。
- ・子ども達が次々と来るので、老人クラブの方々が休憩を取れなかった。休憩時間の確保が必要だった。
- ・大山小が現地解散だったので、迎えの車と帰る方の車が交錯して大混雑が起きてしまった。駐車場整理の段取りが必要だった。できれば帰りのバスも手配していただきたかった。

〈園児と大人の交流事業部〉

- ・地域の方の多大な協力があつた。ずんね会のかぼちゃを育てるところからご協力いただいた。スポーツ民謡会の方々も一生懸命指導して下さった。保護者の方々のご協力

で駐車場の整理もスムーズだった。

- ・スポーツ遊びとかぼちゃのペイントを分けて進めたこともあり、無理なく出来た。玉井幼、大山幼の混合グループにしたことで子ども同士の交流も生まれ良かった。
- ・アンケートにも挙がっていたが、スクールバスを利用して送り迎えをして欲しかったという意見が多くあった。スクールバスを利用するためには、この事業を一日に行うのではなく、フェスタ週間として、事業毎に行うなどすればいいのではないかと。

〈安達太良山清掃登山部〉

- ・縦割りの班分けがとても良かった。中学生が小学生の面倒をよくみてくれた。小学生も中学生の言うことをよく聞いていて、良い雰囲気での登山ができた。
- ・各団体の協力が素晴らしく、山の会、無線クラブの方との連携がすばらしかった。山の会の方には山頂でお話もしていただいたので、とてもためになった。
- ・教職員の方々が真夏に下見登山を行い、危険箇所がないか事前調査して下さったので、その姿勢にとっても感激した。
- ・出発式からゴンドラ乗車までに時間がかかったため、スタートが遅れてしまった。
- ・山はとてもきれいで、ゴミ一つ落ちていない状況だったので、清掃の必要はなかった。

〈アートフィールドワーク部〉

- ・各場所へ移動する際に、交通安全協会、CS 委員、先生方が付いてくださったので、安全安心に実施できた。また芋煮を担当してくださった婦人会の方々にも大変お世話になった。
- ・お昼は学校に戻って、みんなで豚汁をいただいて大好評だった。残さず食べられたのも良かった。地元の材料を利用したのも良かった。
- ・学校間の垣根を越えて交流できた。また出来上がった絵は村の文化祭で全部展示されることになったことも良かった。
- ・婦人会の方々が芋煮の片づけのため、絵を鑑賞する時間が無かったのが残念であった。

進行：どの行事についても、子ども達の交流、地域の人との交流、CS 委員や実行委員の活躍があったようだ。

（２）第 8 回教育フォーラムについて

事務局より：過去のフォーラムの内容と、昨年のフォーラムでのアンケートの自由記述から、主だったものを簡単に説明した。CS 委員に向けて事前にとったアンケートから出たご意見を紹介した。これらを判断材料にしながら、役員会であらかじめ取り決めた案は下記の通りとなる。

- 過去の教育フォーラムの内容について
- 昨年度の教育フォーラムの反省、今年度の実施希望アンケートより
- 昨年度に引き続き、「共に学ぶ研修会」を開催したい。
⇒ 家庭、学校、地域が一つのテーマに基づき、一緒になって小グループで話し合う場を大切にしたい。
- 提案内容
 - ① 時 期 平成 29 年 1 月中旬～下旬
 - ② 時 間 平日の夕方・夜

③ 内 容 豊かな体験で育つ、心豊かな子どもたち

～おおたま・オータム・フェスタをきっかけに～

＊おおたま・オータム・フェスタについて、プレゼン報告を行う。その後、保護者、ボランティア、教員、児童・生徒の代表が登壇し、フェスタを通じて感じたことを発表する。

さらに、発表を受けて、「子どもの成長の糧としての体験活動」に視点をあて、地域・学校・家庭それぞれの役割や一体となっていくべきことについてグループ協議を行う。

④ その他

○ 村連Pの共催をお願いし、多くの保護者の方々に参加いただくよう依頼する。

○ 実施後、CS便りにまとめ、村内全戸配布し、家庭・地域社会への啓蒙を図る。

(事務局よりの提案を受けてグループ協議を行った。)

・グループ協議のテーマとして、来年のおおたま・オータム・フェスタの内容についての話し合いができればいいのかなと思う。

・パネラーにはおおたま・オータム・フェスタでの指導者も入れて欲しい。指導者としての立場の方々が、大玉の今回の取り組みをどのように見ているのかをぜひお聞きしたい。

・グループ協議については、立場が違う人達が集まって話をするということが、大変意義のあることである。昨年のアンケートの意見からも伺えるように、参加者からも好評である。こういった形を大切にしたい。

・グループ協議で円滑に話し合うことができるような話題提供や仕掛けが必要である。

(開催期日について)

・平日の夕方の方が時間を取りやすいように思う。昨年の時間帯なら帰りもあまり遅くならず良いと思う。

・平日の夕方、子どもの参加が予定されているので、18:00～20:00と いうことで決定した。

(3) 今年度の全国学力・学習状況調査の結果について

・本村の結果概要を基に協議を行った。

(4) 各園・各校からの報告(学校・園の様子、月の予定等)

① 大山幼稚園から

・先日祖父母参観が行われた。今回はキビタンが来てくれて、一緒に外遊びをしたり、おじいちゃん、おばあちゃん達と一緒に昔遊びも楽しく行ったりすることができた。

・本日、年長園児が小学校の学習発表会の練習の様子を見学させてもらった。よい刺激を受けたようだ。幼稚園の発表会にも活かしていきたい。

② 玉井幼稚園から

・年長児が5年生との交流会に参加し、玉井小の体育館でゲーム等を楽しんだ。

・幼稚園でさつまいもが大収穫だった。その芋でふかし芋を作ったり、さつまいもご飯を作ったりした。

・預かり保育で朝早く来ている子どもが週に何回か、小学校のあいさつ運動に参加

させていただいている。そこで経験した子は職員室の前で大きな声であいさつする姿が見られ、他の子のお手本にもなっている。

③ 大山小学校

- ・ 6年生の修学旅行、5年生の自然教室、有意義に実施した。
- ・ 今週末には学習発表会、健康マラソンもあるのでそれに向けての練習を行っている。
- ・ さつまいもについては、大山小でも大収穫だった。
- ・ 11月は学校参観週間として位置づけ、3日間公開するので、ぜひ地域の人にも来ていただければと思う。

④ 玉井小学校

- ・ 10、11月と全校であいさつ運動に取り組んでいる。
- ・ 学校の畑で採れたさつまいもが、去年の4倍ほどの収穫量であった。
- ・ あだたら健康マラソンに向けて子ども達が毎朝練習しており、教育委員会の職員も一緒に走って下さっている。一緒に走って下さる方がもっといればと思う。

⑤ 大玉中学校

- ・ 校長が欠席のため報告なし。

○報告を受けて、CS委員から以下のようなコメントがあった。

- ・ あだたら健康マラソンに向けての練習には、これからお手伝いに行きたいと考えている。玉小では水泳の指導もさせていただいている。着衣泳については、いずれ村内全部の学校で実施したいという思いがある。
- ・ 自分が子育てした時代と30～40年経っているのでだいぶ違うなど感じる。今は農業に対する気持ちが薄れているように感じる。農業体験がもっとあれば良いと思う。

6 伝達講習「全国コミュニティ・スクール研究大会」（7/28.29 由利本荘市）」

(1) 伊藤CS副委員長よりの報告と質疑（資料3）

- ・ 秋田の由利本荘までは、片道6時間かかるため前泊したので、ホテルのレセプションにも出席することができた。三鷹市の方々はじめ、CS関係の方々と交流することができた。
- ・ コーディネーターの先生から各テーマに添って助言がなされたが、「21世紀型の能力を培う」ために何が必要なのかなどについてのお話があった。
- ・ さまざまな地域のCSの報告を聞き、大玉のCSはかなり先進的な取り組みをしているなど感じた。それぞれ各地域の実情が違うので一概には比較できないが、先を走っていることは間違いないと思った。その部分は自信をもってこれからも盛り上げていきたいと思った。CSの規模が小さいのは強みであるから、手作りのCSを少しずつでも作りあげていきたいと思った。
- ・ 参加していて、大変有意義な大会であると思ったので、皆さんも機会があればぜひ参加していただきたい。

7 その他

- 11月25日（金）玉井小学校オープンスクール・学校運営協議会について
・本会議の議事録について、今までは、皆様に配付していたが、村のHPにアップしたのでそちらをご覧ください。

- その他

8 閉会の言葉 おおたま学園コミュニティ・スクール委員会 後藤みづほ副会長より

今日、いわきの女性大会に参加してきたが、その中で発表してくれた5歳児の幼稚園児の太鼓の演奏が見事だった。震災後に生まれた子ども達があれだけすごい演奏ができるようになるまでに成長したのだなと思った。子ども達の5年間の発育には及ばないながらも、私達も成長しなければならないなと思った。玉井幼・小の学校運営協議会も楽しみにしているのでもよろしくお願いします。

※次回の予定

11月25日（金）16:30～ 玉井小学校

○授業公開、事後研究会への参加もよろしくお願いします。



（会議の様子から）おおたま・オータム・フェスタの担当毎にグループ協議を行った。それぞれの反省を出し合って、発表した。